

8月19日(水)より2学期がスタートしました。残暑が厳しく急に部活動を中止する日もありました。そのような中、生徒は元気に登校し、学習やそれぞれの活動に意欲的に取り組んでいます。私たち教職員も生徒のがんばる姿に元気をもらいながら、今できる教育活動を充実させるべく全力を尽くしています。

この夏の新型コロナウイルスの感染状況は拡大傾向にありましたが、8月下旬になりピークを過ぎたのではないかという見方も出てきました。しかし、福島県でも散発的に感染者が見られています。

本校では、現在の県内及び近県の感染状況や生徒、保護者の意向を踏まえ、9月に予定していた、3年生の修学旅行を中止としました。生徒にとって貴重な学習の機会が失われるのは本当に残念です。今後は、学校における教育活動を通して、生徒の健全な成長を図っていききたいと思います。

差別や偏見をなくすために

生徒の皆さんも、保護者の皆様も、この感染症に対する不安を強くもっておられることと思います。「この先感染はどこまで広がるのだろうか」「もし自分が、家族が感染したらどうしよう」など心配の種はたくさんあります。

しかし、この感染症よりも怖いものがあります。それは偏見や差別です。新型コロナウイルスに感染した患者さんやその家族に対する差別、医療関係者やその家族から新型コロナウイルスがうつるのではないかといった根拠のない偏見、発表された一部の情報をもとに「あの人が感染したのではないか」という噂を広げる誹謗中傷などが実際に起こっています。

日本赤十字社ではこれらを「3つの“感染症”」として注意を呼びかけています。「病气そのもの」、「不安と恐れ」、「嫌悪・偏見・差別」はそれぞれが伝染します。(裏面参照)

現状を不安に思うこと自体は当たり前のことです。「適切な不安」は感染から身を守ることにつながります。不安の正体は何なのか、心に問いかけ、不安と上手に向き合っていくことが大切です。

差別することで不安が解消することはありません。新型コロナウイルス感染症の問題解決にもならないことはみんな理解していると思います。必要なのは、患者さんやその家族の大変さや苦しみを推し量り共感すること、つまり、相手の立場や思いを想像する力です。そして「もし自分が感染したら」と、自分事としてとらえ、相手からどのように接してほしいか想像することが大切です。そうすることで相手を思いやる気持ちをもつことができるようになるのだと思います。

本校では、「学校の新しい生活様式」をもとにして、最善の感染対策に努めています。それでも感染リスクをゼロにすることはできません。極力感染しないように、感染を広めないように努力しながら、どのようにしたら生徒の学びを保障できるのか日々考えています。生徒にとってはかけがえのない、たった一度の中学校生活です。様々な活動を通して、教科の学習以外にもたくさんのことを学びます。これからも、生徒一人一人が多くのことを体験的に学んでいけるように教職員が一丸となって取り組んでまいりますので、ご理解ご協力をよろしく願います。

各相談窓口

帰国者・接触者相談センター	0120-567-74
ふくしま24時間子どもSOS	0120-916-02
「ダイヤルSOS」(福島県教育センター)	0120-453-14
子どもの人権110番(法務省)	0120-007-11

PTA奉仕活動へのご協力よろしくお願いします

1学期は臨時休業などで実施できませんでしたが、PTA奉仕活動を9月5日(土)7:00から実施いたします。

今年度はこの1回のみとなります。詳しくは先週配布いたしました案内をご覧ください。大変お世話になります。

<9月の予定>

1日(火)	県北地区中体連駅伝競走大会(あづま総合運動公園)
2日(水)	交通教室
5日(土)	PTA奉仕活動(保護者のみ)
8日(火)	校外学習(2年)
9日(水)	校外学習(1年)
11日(金)	生徒会立会演説会・投票
18日(金)	新人壮行会
24日~25日	支部中体連新人大会
27日~29日	試験前部活動なし
29日(火)	生徒会専門委員会
30日(水)	2学期中間試験
	修学旅行(3年) → 中止